



マップづくりのための てくてくまち歩き

石神井まち協クラブ



1月10日 14:00 まち歩きスタート!

石神井公園駅に、まち協クラブのメンバー6人が集まりました。今日は公園に「オオハクチョウも来ているらしい」という噂もあって、みなさん楽しみにしています。「日頃、見落としているところも見ていこう」という目標とまち協クラブ

の旗を掲げ、出発です。南口の商店街に出て、早速目に付いたのは街路灯。

次に向かったのは、一つ目の路地を歩いていったところにある大鷲神社です。ここはちょうど都市計画道路が通る予定。「ここでイベントを開いたら、若い人が参加してきっと盛り上がると思うんだ。」とメンバーの下河さん。

話が弾んできましたが、まだスタートしてから50m。「先に進みましょうか」と再出発。

「幼稚園みたいな作りですねえ～」と言

石神井公園駅周辺は、どこか懐かしいようで新鮮。様々な資源(宝物!)を秘めた魅力的な場所。このまちに詳しい「まち協クラブ」さんが、ふらりと訪れる人にも楽しくお得なマップをつくろう!と活動しています。「まち協クラブ」だから作れるマップとは?誰にでもわかりやすい道をマップで伝えたい...そんな想いからまち歩きが行われました。

まち活
つうしん
10
まちからかわらね

ねほまちづくりセンター 取材日:2009.01.10

公園へのわかりやすい道を伝えたい! サイン計画

まち協クラブの旗を掲げていると、「いつこのマップできるんですか?楽しみにしてますよ」とお声がかかります。下河さんが作ったお手製の旗、効果抜群です。さて、作ろうとしているマップの中で、重要なポイントとなる交差点にたどり着きました。この交差点は、どこからいけば石神井公園に近いのか、よく聞かれる場所だそうです。「石神井を初めて訪れる人にもわかりやすい公園への道を伝えたい、



そしていつかその道を伝えるサインができれば!」という思いのこもったマップづくり計画。「今後『ポート池はこちら』などのサインがつけられたらいいですね。」とメンバーのみなさん。

石神井公園の魅力

マツの木がシンボルにある道を下って、石神井公園のポート池に到着。残念ながら8年ぶりに来たというオオハクチョウは、もういませんでした。でも公園にはたくさんの人と池の鳥たちで華やかです。



『駅までの近道です』という看板を発見。みんなこの看板に気づいているのかな?としばし観察。

池沿いに立つ看板を読み込んで、昔は水面が見えないくらいのカモがいたんだよ」と昔の話をしたり、



三宝寺池の北側の丘にある姫塚と立派な木を見ては、「この木も大きくなったんだね～」とジワリ

思いを巡らせたり。

突如キツツキの仲間アオゲラにも出会いました。こんな調子でのんびりまち歩き。五感でオススメスポットを押さえていきました。

「これぞ、まち協クラブ」のマップを

いよいよまちあるきも終盤。「昔から住む地元の人が紹介する物がマップに載っているとおもしろいね」「石神井人だからこそ知ってることを載せられたら、まち協クラブらしいマップになるのでは?」とメンバーの間では、次第に色んなアイデアが生まれてきました。

読む人にとっても楽しく、お得な情報満載のマップ。出来上がりが楽しみです。

石神井まち協クラブ

代表の下河さんに

聞きました。



Q. マップづくりで大変なことは何ですか？

今回のガイドマップづくりで一番苦労したのは、石神井公園周辺地区には石神井城址を始めとして、沢山の史跡、天然記念物、寺院、植物園などが沢山あります。どれを取り上げたら、マップ利用者に喜んでいただけるか苦労しました。

Q. 今後の活動について教えてください。

石神井まち協クラブは、今日まで7年間呼び慣れた「石神井まち協クラブ」から、4月1日を期して名称を「石神井まちづくりの会」に変更します。これを機会に、地域にもっと門戸を広げて、地域住民とより密着した「地域のまちづくり活動」に努めます。石神井のまちづくりも、連立高架化事業の進捗もあり、これからがいよいよ本番です。最近、「かるがも便り」の愛読者という若い女性が新入会され、シニアが多い会員がみんな生き生きとしています。今後、会の活動に“力”がはいることでしょう。



はい、ポーズ!

『かるがも広場』の前で

石神井公園駅構内に設置されている、石神井まち協クラブの掲示板『かるがも広場』。石神井公園の季節折々の耳寄り情報「石神井公園 NOW」や、「かるがも便り」(1月・4月・7月・10月発行)が置いてあります。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

練馬まちづくりセンターは

“まちづくり活動助成事業”で、

石神井まち協クラブの活動を応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうこと に対しての助成です。

【テーマ部門】身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を实践する組織です。

石神井まち協クラブについて



設立 2002年(平成14年)4月

活動テーマ

石神井公園駅周辺地区のまちづくり活動
一石神井公園地区の公共サイン・案内標識・標示の提案およびマップづくり

活動実績

- ・『かるがも便り』発行
(春夏秋冬の年4回)
- ・石神井商店街のまちづくり支援
- ・石神井公園南口懇談会への参加
- ・「石神井公園地区のまちづくりを考える会」への参加
- ・「消費生活展ねりま」に参加

活動場所

石神井公園駅周辺&区民交流センター

団体連絡

h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp (下河)

取材日記

このまちあるきにおじゃましました、練馬まちづくりセンターの猪俣です。まち協クラブのみなさんと歩いていて、「なんて見事に個性がいかされたまちあるき」と楽しく勉強しながら参加させていただきました。旗を片手にまちあるきを進めていくシモガワさん、一番後ろで色々な視点で写真を撮り、話を聞き情報収集をするハヤシさん、緑のことときたらイソベさん、昔の石神井公園に詳しいナカタさん、マップづくりのデザイン担当のオオエさん、物のデザインなどじっくり見据えているイトウさん。きっと参加されていない他メンバーの方のパワーも入り、まち協クラブさんらしいものになってゆくんですね。石神井のまちの人々だけが知っているかもしれない魅力的情報がどれだけ引き出されていくかが楽しみです。マップが、まちの看板づくりにつながることを夢みて!